センターからのお知らせ

総合情報システム運用センター
tains@cc.tohoku.ac.jp

「TAINS速報」について

TAINSのトラブルなど運用に関するお知らせをお届けするために，平成 8 年 4 月以来，4 月 18 日，4 月 24 日，4 月 25 日，4 月 30 日，6 月 6 日に「TAINS速報」を発行し，イメージメールで発送しました。一部を再録し，ここに含めます。

なお，TAINS88は構成上，どこかの建物が停電するとネットワーク全体の機能に支障を与えます。休日等の作業停電によるTAINSの停止を予告する速報が続きましたが，その後，施設部等の御理解と御協力により，作業の際にTAINS機器の停電を避けていただくようになり，作業停電によるTAINSの停止をお知らせすることがなくなりました。

「TAINS速報」は，WWW により以下のところから見られます。

http://www.tohoku.ac.jp/TAINS/report/index.html

総合情報システム運用センターが設置されました

平成 8 年 4 月 1 日より，東北大学で，学内ネットワーク TAINSなどの情報システムの運用を担当する部局として，「総合情報システム運用センター」が設置されました。

総合情報システム運用センターはセンター長の下

「研究開発室」
「運用係」

で構成されています。

当分の間，このセンターは東北大学大型計算機センターの建物内に置かれます。

総合情報システム運用センター (運用係) の連絡・問合せ先は，以下の通りです。

E-mail: tains@cc.tohoku.ac.jp
電話: 学内内線 3413・3437
ダイヤルイン (022)711-3413

(平成 8 年 4 月 18 日，平成 8 年 6 月 6 日)

ニュースサーバが変更になりました

ニュース管理者グループのご協力により，ネットワークニュース (netnews) のサーバの機種，アドレス，役割が変更になりました。学内外との記事交換は新しい sakunami.gw.tohoku.ac.jp (130.34.11.88) が担当します。ニュースを読む人のためのサービスを，hirose.gw.tohoku.ac.jp (130.34.11.119) で始めました。

利用者の方は，hirose を利用するように，変更をお願いします。

tains.net ニュースグループなどに投稿された案内もご覧ください。質問などは，news@tohoku.ac.jp までお願いします。

(平成 8 年 6 月 6 日)

ネームサーバが増設されました

DNS の tohoku.ac.jp と 130.34.*.* のネームサーバを片平キャンパスにも置きました。各部局ドメインのネームサーバからのアクセスは，以下のようにお願いいたします。

130.34.11.123, 130.34.48.32, 130.34.11.111

なお，各部局内のコンピュータ等からのアクセス（リゾルバの指定）は，各部局（サブドメイン）のルールに従ってください。

(平成 8 年 6 月 6 日)

電子メールサービスが開始されました

総合情報システム運用センターと大型計算機センターが共同で運用する，電子メール専用システム (mail) のサービスを開始しました。

以下，電子メールサービスについてのポイントです。詳細につきましては利用案内をご覧ください。

- メールサーバの名前は，mail.cc.tohoku.ac.jp です。
- 基本的には PC（Win,Mac）から POP（Eudora, WinBiff, Netscape など）でお使いいただきますが，ログインしても使えます。
- ID は利用者の方がお好きな名前をおつけ下さい。申請順に割り当てます。
- 課金はありません。原則的に cctu-mail の利用資格があればお使い頂けます。

- 利用対象は，東北大の学内に連絡先を持つ職員・大学院生，および東北大外でも大計センターの利用有資格者です。
- 利用申請と利用案内などの詳しい案内は，メールサーバ (`mail.cc.tohoku.ac.jp`) に `telnet` で接続し，`login:` に対して `help` と入力すれば見られます。
- NNTP によるネットワークニュースのサービスは準備中です。

お問い合わせ先

総合情報システム運用センター・運用係
E-mail : tains@cc.tohoku.ac.jp
TEL : (022)711-3413（ダイヤルイン）（学内 3413）

利用上のお問い合わせ先

（操作方法など） プログラム相談室 sodan@cc.tohoku.ac.jp
（トラブルなど） 利用上の連絡先窓口 operator@mail.cc.tohoku.ac.jp

PPP サービスが開始されました

自宅や出張先から研究室のコンピュータなどにアクセスするときに使う，ダイアルアップ PPP 接続のためのサーバの運用を開始しました。無手順の端末接続 (ターミナルサーバ) も可能です。

新たに利用申請の手続きは要りません。このサービスの利用には課金していません。

このサーバを利用するためのデータは以下の通りです。

電話番号: 217-3128

通信速度: 最高 28.8 kbit/s または ISDN 同期 64 kbit/s

アカウントとパスワード: メールサーバ (`mail.cc.tohoku.ac.jp`) の利用資格（利用者名とパスワード）を使います。

モデムの代わりに，同期通信の機能をもつ ISDN の TA を利用することもできます。このサービスを同時に利用できるのは，現在のところ，モデムによる接続が 16，ISDN 同期接続が 2 までです。

1. PPP(Point to Point Protocol) による接続

利用者が用意するものは，パーソナルコンピュータ，モデム，電話回線と，PPP 接続の機能をもつ接続ソフトウェアです。チャットスクリプト無しの PAP 方式，または，チャットスクリプトの中で ppp コマンドを使う方法のどちらかでご利用ください。

このサーバを利用するためのデータは以下の通りです。

IP アドレス取得: サーバから割当て

以下の項目は，設定すると便利ですが，この例に限らず，最適に設定してください。

ドメインネームサーバ: 130.34.11.123

ドメイン: `mail.cc.tohoku.ac.jp`

proxy: サーバ 130.34.11.123:8080

メールや WWW を利用するには，それぞれの機能をもつソフトウェアや利用の準備が必要です。

PPP を使う場合の設定 (PPP 機能をもつソフトウェアが，PAP(Password Authentication Protocol) 方式の認証機能をもつ場合 – MacTCP，Trumpet など)

PPP の PAP の利用者認証を利用するために，PPP 接続のソフトウェアの PAP の設定に，メールサーバの利用者名とパスワードを設定します。

1. 217-3128 へ電話する
2. `CONNECT` が表示されたらすぐに PPP のセッションに入る

PPP を使う場合の設定 (PPP 機能をもつソフトウェアが，PAP 方式の認証機能をもたないか，誤動作する場合 – Windows95 など)

1. 217-3128 へ電話する
2. `CONNECT` が表示されたら CR を送る
3. `Username:` と `Password:` に対して利用者名とパスワードを送る。
4. コマンド待ちのプロンプトが表示されるので，“ppp” を送って ppp コマンドを起動し，PPP のセッションに入る

2. 無手順による端末接続 (telnet)

利用者が用意するものは，パーソナルコンピュータ，モデム，電話回線と，通信ソフトウェアです。

1. 217-3128 へ電話する
2. `CONNECT` が表示されたら CR を送る
3. `Username:` と `Password:` に対して利用者名とパスワードを送る。
4. コマンド待ちのプロンプトが表示されるので，`telnet` コマンドを起動し，telnet のセッションに入る

お問い合わせ先

総合情報システム運用センター・運用係
E-mail：　tains@cc.tohoku.ac.jp
TEL：　(022)711-3413（ダイヤルイン）（学内 3413）

ネットワーク相談について

平成 8 年度より，大型計算機センターのプログラム相談室でネットワーク利用に関する相談にも応じています。相談担当者がカバーできる範囲は限られますので, 常時相談できる体制にはなっておりせん。相談員の担当分野に注意して相談してください。担当時間内に解決できなかった場合は, 次の担当者に引き継ぐ場合があります。

なお, 相談する際には次の点にご協力をお願いします。

1. 相談時間帯を厳守してください。終了間際の相談には十分な対応ができない場合があります。
2. 相談票に氏名, 所属等を記入のうえ, 相談を申込んでください。
3. 電話で相談する場合は, 内線 3428 をご利用ください。また, FAX(022-214-2259) 及び電子メール（sodan@cc.tohoku.ac.jp) による相談も受けておりますのでご利用ください。
4. 相談員の方の研究室に直接相談を持ち込むことはご遠慮ください。

平成 8 年度後期プログラム相談日程

曜	(10:00 ~ 12:00)		(13:00 ~ 15:00)		(15:00 ~ 17:00)	
日	相談員	担当分野	相談員	担当分野	相談員	担当分野
月			埜上　洋 (素材研)p	211,312,602	佐藤行彦 (医短)p	104,322,325, 326,337,342
			太田耕平 (情科)n	102,342,601, 610,640	金丸　朗 (情科)n	111,113,601, 602,640
					板垣幸由 (大計)p	102,103,111
火	高根昭一 (通研)n	101,111,226, 342,601,611	石黒静児 (工)p	101,111,113, 123,211	中塚晴夫 (医)p	104,211,234, 324
	両角仁夫 (工)p	104,211	岡本　東 (情科)n	342,601,612, 641,642,645	佐藤弘康 (工)p	101,211,341, 342
	陳　国躍 (大計)n	212,342,345, 641			高橋弘宣 (情科)n	601
水	三石　大 (通研)n	212,601	甲千寿子 (理)p	104,121,122, 331,333,335	松井健一 (情科)n	212,216,342, 644
	嶺岸　勉 (大計)p	104,121,211	八木栄后 (理)p	113,212,602, 642	葛生貴博 (工)p	313
			岩沢正樹 (理)n	102,111,112, 211,601,642	岡部公起 (大計)p	101
木	清水幸弘 (工)n	101,111,112, 601,603	西村雅之 (理)p	101,102,111, 211,345,601	八木直人 (医)n	100,600,610, 640
	西村圭央 (工)p	104,113,211, 602	花岡 勝太郎 (大計)n	602,604,605, 611,622,623	稲垣正史 (工)p	211
					大泉健治 (大計)p	102,111,325
金	杉浦茂樹 (情科)n	601,642	西村竜一 (情科)n	102,111,212, 601	熊谷邦洋 (情科)n	113,212,602, 642
	佐伯田鶴 (理)p	101,111,112, 211	鈴木基之 (大計)p	111,212,214, 342,601	佐藤倫子 (大計)p	103,211,226, 345

p は主にプログラミング，計算機システム担当

n は主にネットワーク利用，ワークステーション，端末担当

相談担当分野

A　計算機システム利用・プログラミングの分野

(省略)

B　ネットワークの分野

システムの種類	設置, 接続	アプリケーション・サービス
600. 全般	610. 全般	640. 全般
601. UNIX WS	611. TAINS88イーサネット	641. リモート接続 (telnet)
602. PC(DOS,Win)	612. SuperTAINS FDDI,CDDI	642. FTP
603. Mac		644. WWW
604. CS,TS	613. ATM	645. MBone
605. TAINSイメージメール		
	621. ルータ，サブネット	
	622. 端末の設置	
	623. インターネット (組織間)	

SuperTAINSにおけるプライベートアドレスの利用について

TAINS内のプライベートアドレスの利用について，TAINS利用研究会や技術専門委員会で検討した結果，以下のように使用すべきであるとの結論になりました。

TAINS外との通信の必要が無い (または，通信させたくない) 大きな演習室や研究上どうしてもネットワークが複数必要な所などで興味のある方は，是非ご一考頂ければ幸いです。

(1) クラスCのプライベートアドレス

SuperTAINSに接続するサブネットに限り，

192.168.1.0 - 192.168.254.255

の254個のクラスCのアドレスを，学内で調整しTAINS内で相互に通信できるネットワークとして利用できることにします。

クラスCのプライベートアドレスについて，使用するアドレスの割当ては，通常のサブネットアドレスの割当てのルールに準じることとします。申請は，従来の「SuperTAINSに接続するサブネット申請書」を使い，備考欄に「プライベートアドレス希望」と書いて提出して下さい。

(2) クラスBのプライベートアドレス

172.16.0.0 - 172.31.255.255

の 16 個のクラス B のアドレスは，TAINSの幹線へ経路情報を流さない条件で，各部局等の責任で，自由にお使い頂けます。

クラス B のプライベートアドレスについて，アドレスの割当申請は不要です。

プライベートアドレスを使おうとするとき，組織 (東北大) の外へ漏れないように，TAINSと外部との接続点全てで，プライベートアドレスを外に漏らさないように設定する必要があります。TAINSの対外接続ルータでアドレスのスクリーニングを行ないます。

対外接続ルータ設定変更についてのお知らせ

学外からTAINSへの侵入を防ぐため，総合情報システム運用センターでは，東北大と学外との接続点において，学内外をまたぐ NIS や NFS などの通信を許さないよう設定します。これは，学外からの不正侵入の試みを不可能にすると共に，学内から学外のホストに対して同様の試みが行なわれないようにするための措置です。具体的には，udp と tcp の 111 番のポートを学内外で通信できないように致します。

NFS 関連はもちろんのこと，111 番のポートを利用できなくしたために，(たとえスクリーニングが開いていても)NIS だけでなく他の RPC を用いたいくつかのサービスに関しても影響が出ます。ここで影響が出る可能性のあるサービスは，on コマンド，rusers コマンド，spray コマンド，rwall コマンド，rex プロトコルを用いたプログラムなどです。これらのプログラムを用いて学外との通信を行ないたい場合には総合情報システム運用センターまでご連絡下さい。これらのプログラムを，学内同士で利用するのに問題はありません。